

<対策のポイント>

労働需要の大きい時期が異なる**他地域との連携**や、繁忙期の異なる農業・建設業等の**他産業との連携**による**労働力の確保への取組**を支援します。

<事業の内容>

造林等の労働需要の大きい時期が異なる**地域間**や、繁忙期の異なる**産業間の連携**による**労働力の確保**の取組を推進するため、

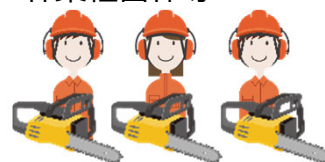
- ① 林業経営体が行う地域間連携の取組に対し、**遠隔地からの移動に伴う経費を支援**（1/2、1/3以内）
- ② 林業経営体等が行う産業間連携の取組に対し、**他産業の従事者が技能講習等を受講するために必要な経費を支援**（定額）

<事業イメージ>

地域間連携

造林等の労働需要の大きい時期が異なる**地域間の連携**による**労働力の確保**の取組

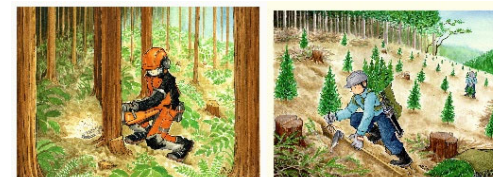
<送り出し>
林業経営体等



<受入れ>
林業経営体



(連携の例)
冬季における請負契約



遠隔地からの移動に伴う掛かり増し経費（旅費）について、
受入側の林業経営体に助成

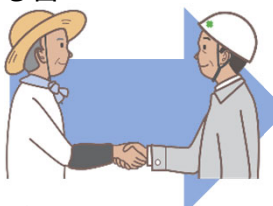
産業間連携

繁忙期の異なる**産業間の連携**による**労働力確保**の取組

<送り出し>
農業や建設業等に従事する者



<受入れ>
林業経営体



(連携の例)
農閑期での臨時雇用



現場作業に必要な技能講習等を受講するために必要な経費について、
受入側の林業経営体に助成

<助成対象>

認定事業主（※1）又は**選定経営体**（※2）である**受入側の林業経営体**

- ※1 林業労働力の確保の促進に関する法律（平成8年法律第45号）第5条第1項に基づき、都道府県知事の認定を受けた事業主
- ※2 林業経営体の育成について（平成30年2月6日付け29林政経第316号林野庁長官通知）に基づき、効率的かつ安定的な林業経営や森林経営の継続性の確保を目指す林業経営体として都道府県知事が選定した林業経営体

<事業の流れ>



「緑の雇用」担い手確保支援事業（拡充）

令和8年度予算額 3,857,266千円（前年度 3,945,049千円）

＜対策のポイント＞

林業への就業と定着化を図るため、**就業ガイダンス**、就業時の**マッチング支援**や**トライアル雇用**、**フォレストワーカー（林業作業士）研修**などの**就業支援や新規就業者の育成に向けた取組**を支援するとともに、林業従事者の処遇の改善や安全で効率的な施業を実現するため、高度な知識・技術・技能を有し現場の生産・安全管理や若手技能者の研修指導を担う**現場管理責任者等の育成**や**多能工化研修の実施**を支援します。

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 新規就業者の就業支援対策

林業に興味のある方へ林業への就業や地方移住などの情報を提供する**就業ガイダンス**、就業時のミスマッチによる離職を抑制するための**就業前の現地訪問によるマッチング**、就業希望者が林業の作業実態や就労条件についての理解を深め、林業への適性を判断できるようにする**トライアル雇用**の実施を支援します。

2. 新規就業者の育成対策

新規就業者が、安全で効率的な作業を習得するための**3年間の体系的な研修**である**フォレストワーカー（林業作業士）研修**の実施を支援します。

3. 現場技能者キャリアアップ対策

林業の現場における安全で効率的な施業の中心となり、若手技能者の指導的な役割を担う**フォレストリーダー（現場管理責任者）**及び**フォレストマネージャー（統括現場管理責任者）**を育成し、**現場技能者のキャリア形成を促進するための研修**、スキル向上・経営体の収益力向上に資する**多能工化研修**を支援します。

就業ガイダンス

林業に興味のある方へ林業就業や地方移住などに関する情報提供



就業ガイダンスの様子

就業時のマッチング

就業時のミスマッチによる離職を抑制するための就業希望者に対する**就業前の現地訪問によるマッチング**

トライアル雇用

(約9万円/月 ×最大3ヶ月)

林業の作業実態や就労条件について理解を深め、林業への**適性を判断**することで、地方への定着を図るための**短期研修**

林業への就業

フォレストワーカー研修

(約137万円/年・人)

〔新規就業者〕安全で効率的な**知識・技術・技能**を習得するための**3年間の体系的な研修**



集合研修やOJT研修による知識・技術・技能の習得

フォレストリーダー研修

(約9万円/年・人)

〔現場技能者〕現場を管理し、若手の育成を担う**責任者育成に向けたキャリアアップ研修**

※フォレストリーダー：担当する現場を管理・運営することができる班長クラスの責任者〔就業5年以上〕
※フォレストマネージャー：複数の作業現場を統括管理することができる責任者〔就業10年以上〕

フォレストマネージャー研修

(約9万円/年・人)



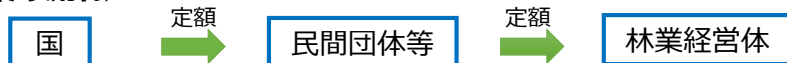
多能工化研修

(約9万円/月 ×最大2ヶ月等)

林業の複数の作業（造林・伐採）や複数の作業工程（伐木・造材・集材等）の**技術、デジタル技術を学ぶ研修等**

＜事業実施主体＞ 民間団体等

＜事業の流れ＞



〔お問い合わせ先〕 林野庁経営課（03-3502-1629）

緑の青年就業準備給付金事業（継続）

令和8年度予算額 555,220千円（前年度 573,496千円）

<対策のポイント>

林業従事者が減少傾向で推移する中、**林業就業希望者の裾野拡大**を図るとともに、林業の知識・技術を習得した担い手を育成することで**林業事業体等の経営活性化**を図るため、**林業大学校等において林業への就業に必要な知識等の習得を促進し、林業経営も担い得る有望な人材として期待される者に対する給付金の給付**を支援します。

<事業の内容>

<事業イメージ>

○ 緑の青年就業準備給付金の給付

林業大学校等において、林業への就業に**必要な知識・技術等の習得を促進し、林業経営も担い得る有望な人材として期待される者に対する給付金の給付**を支援します。

（給付対象者）

原則45歳未満（就職氷河期対策対象者はこの限りではない）であり、林業へ就業し、その中核を担うことについての強い意欲を有していること。

（給付金額・給付期間）

1人当たり最大155万円（研修機関等が条件を満たす場合）
最長2年間

<事業実施主体> 都道府県又は林業労働力確保支援センター

<事業の流れ>



林業大学校等の現状



給付金給付対象都道府県の状況
（令和7年度28道府県）

期待される効果

研修開始

林業就業希望者の裾野の拡大

給付金の給付により研修希望者が増加

研修中

幅広い林業の知識・技術等の習得

給付金の給付により研修に専念できる環境を整備

研修後

林業への就業・定着

林業経営の担い手として経営活性化

定着率向上優先給付の条件設定により、定着率向上のための林業大学校等の取組等を推進

地域林業の牽引